

性の多様性について知ろう!

性のあり方には、身体の性以外にもさまざまな要素があります。

これらの要素は、それぞれがはっきりと「男」と「女」に分けられるのではなく、グラデーションになっています。

これらの要素の組み合わせは多様で、私たちは一人一人、顔や性格が違うように、性のあり方もそれぞれ多様です。

「からだ」の性。
出生時に割り当てられた
生物学的な性。
身体の特徴による性。

カラダ

「こころ」の性。
女・男だけにとらわれず、
自分をどんな性別と認識
するか。性自認ともいう。

ココロ

「好き」の性。
恋愛感情や性的な関心が、
どの性別に向かっているか。
性的指向ともいう。

スキ

「らしさ」の性。
服装や言葉遣い、しぐさなど、
どんな風に周囲から見られたいか。
性表現ともいう。

表現

LGBTとは?

性的マイノリティ(性的少数者)の総称のひとつです。

Lesbian(レズビアン:女性同性愛者)、**Gay**(ゲイ:男性同性愛者)、**Bisexual**(バイセクシャル:両性愛者)、**Transgender**(トランスジェンダー:性自認が出生時に割り当てられた性別とは異なる人)のそれぞれの人を示す頭文字を組み合わせた言葉です。

性的マイノリティには、他にもアセクシャル(無性愛者)やXジェンダー(性自認を男女のいずれかとは認識しない)などが存在します。

「LGBT」から「SOGI」へ

SOGI(ソジ、ソギ)とは?

多様な性の構成要素をあらわした言葉です。

Sexual Orientation(性的指向)と**Gender Identity**(性自認)の英語の頭文字をとったものです。「LGBT」は一般的に使われますが、「多数者と少数者」「自分とは関係ない特別な人の話」という捉え方につながるという指摘もあります。一方、**SOGI**はすべての人の性の構成要素に着目した表現です。「誰もが当事者」と捉えやすくなり、国連等においても「SOGI」という言葉が使われるようになってきています。

性的指向

(Sexual Orientation)
恋愛対象が誰であるかを示す概念

誰を好きになるか・ならないか。

性自認

(Gender Identity)
性別に関する自己意識

自分の性別を何と認識するか・しないか。

性の多様性が 認められる 学校づくり

～自分らしさ・その人らしさを大切にする学校づくり～

11人に1人(8.9%)が性的マイノリティ

(電通ダイバーシティラボ LGBT調査2018 より)



性的指向や性自認に関わることで、いじめや不登校、自死の原因につながっている事例があります。

性的指向や性自認等で悩んでいる子どもも含め、すべての子どもたちが安心して生活できる学校づくりを進めましょう。

島根県教育庁人権同和教育課

性の多様性に関わる思い(悩み)と支援・配慮

男女別を前提とした しくみ・制度

学校の中には、男女別を前提としたしくみや制度があります。誰もが安心して生活できる制度になっているか、振り返ってみましょう。

自認する性と違う制服を着るのは嫌だ。

座席配置が男女で固定してあるのは苦痛だなあ。

男女で呼び方を変えられるのは何か変じゃない？

アンケート用紙に男女を記入しないといけないのは何でだろう…。

「男子だから」「女子なのに」という決めつけはやめて欲しいなあ。

全体的な対応の検討

- ・誰もが自由に制服を選択できるようにする。
・男女同じデザインの制服を採用する。
- ・男女別を基準にしない配置にする。
- ・性別によって呼び方を変えないようにする。
- ・ unnecessary 性別記入欄をなくし、必要ない場合は性別記入を求めないようにする。
- ・性別による決めつけがないか、振り返ってみる(「らしさ」を求めない)。

個別の配慮

- ・本人と話し合った上で、自認する性に対応したトイレや多目的トイレの利用を認める。
- ・本人と話し合った上で、個別に使用できる部屋の利用を認める。
- ・体育の授業では、本人と話し合った上で、別メニューで行う。
- ・部活動では、本人及び学校で協議して所属を検討する。
- ・本人と話し合った上で、入浴時刻を他の人とずらす。

自認する性とは違うトイレは使いたくない…。

更衣場所が男女別になっているのは使いにくいなあ。

体育や部活動などは自認する性の活動に参加したいなあ。

宿泊研修、お風呂どうしよう…。

自分って……？ ～とまどい～

自分の性について、とまどいや不安を抱いている子どもがいます。成長の過程や時期により、性的指向や性自認がゆらぐこともあることを理解しておきましょう。

私って男の子？女の子？決めなきゃいけないの？

同性を好きになったけど、私って変なのかな？

男っぽい(女っぽい)身体に成長していくのがつらい。

柔軟な受け止めの構え

- ・性的指向や性自認に関わる自覚や悩みは、人によって短期であったり長期に渡ったりするなど異なります。教職員は多様な性があることをよく理解して、悩みを受け止める姿勢をもちましょう。

周りはどう思っているのかなあ？

変な子だと思われていたらいやだなあ…。

同性愛をネタにしてからかい合うような教室の雰囲気に耐えられない。ここには居づらいなあ。

私を特別視して欲しくない…。

性の多様性をありのままに受け入れられる雰囲気づくり、集団づくりに努めましょう。

集団・雰囲気づくり

- ・性的指向や性自認を尊重し、同性愛者や性別に違和感のある人などをからかうような言動がなくなるように丁寧な指導や集団づくりをしていきましょう。からかうような発言や雰囲気は黙認しないようにしましょう。

児童生徒の理解

- ・「からだの性別に違和感がある人もいる」「恋愛対象は異性だけとは限らない」など、発達段階に応じた理解を子どもにも進めましょう。

相談しづらいなあ……

打ち明けたら(カミングアウトしたら)、相手が離れていってしまうかも…。

先生に相談したら、先生はちゃんと受けとめてくれるのかな？

親や家族には知られたくないなあ。



相談することは、本人にとってとても勇気のいることです。相談しやすい雰囲気づくり、環境づくりを進めるとともに、どの教職員でも相談に対応できるように研修等を進めておくことも大切です。

相談体制

- ・子ども一人一人の違いを認め、気軽に安心して相談できる関係づくりに日頃から努め、学校全体で支える雰囲気をつくりましょう。
- ・相談(告白:カミングアウト)する相手は、本人が「相談しても大丈夫な人だ」と思った相手ということです。相談内容を本人の了解なく、第三者(親や家族を含む)に伝えること(暴露:アウティング)がないようにしましょう。
- ・相談を受けたら、丁寧に話を聞きましょう。すぐに病院での受診ということではなく、本人や周囲と相談をしながら丁寧に進めましょう。

環境づくり

- ・子どもたちのSOGIを含めた多様性に対する理解を進め、子どもたちがお互いに相談しやすい雰囲気を高めていきましょう。
- ・性の多様性にかかわるポスター掲示や書籍の紹介などを行い、関心を高めるようにしましょう。相談のしやすさにもつながります。

教職員の理解

- ・性の多様性について、研修を行うなど、教職員の理解を深め、誰が相談を受けてもよいようにしておきましょう。
- ・アウティングは、最悪の場合自死につながります。アウティングの危険性について十分に理解しておきましょう。

このページの見方について

性的指向に関わる思い

性自認に関わる思い

性的指向・性自認両方に関わる思い

- ・対応のポイント
- ・配慮の例
- ・支援の例

